

定例公安委員会の開催状況について

令和8年6月18日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 7月の行事予定

7月の行事予定について報告があった。

(2) 防犯用品購入キャンペーンの実施について

防犯用品購入キャンペーンの実施について報告があった。

委員から、県民の防犯力を高めるための優れた施策であるから、真に利用してもらいたい世帯に利用してもらえよう、社会連携の仕組みも活用し周知していただきたい旨の発言があった。

委員から、補助要件や補助額についても分かりやすく周知を図っていただきたい旨の発言があった。

(3) 来日外国人犯罪の現状及び通訳体制の確保について

来日外国人犯罪の現状及び通訳体制の確保について報告があった。

委員から、外国人犯罪の発生状況、特徴等を県民に注意喚起すると共に、県内在住の就労外国人による犯罪であるという誤解を与えないようにすることが必要である旨の発言があった。

委員から、6月施行の特定金属盗対策法のように盗品を換金できないシステムを作っていかなければならない旨の発言があったほか、ネット上での盗品取引をどう抑えるかが今後の大きな課題であると感じている旨の発言があった。

(4) 佐賀県警に対する特別監察結果を受けた当県の対応状況について

佐賀県警に対する警察庁の特別監察結果を受けて、当県における鑑定等の現状と不適切な取扱い防止等に関する警察庁通達に対する対応状況について報告があった。

委員から、職員に過剰な業務負担がないか点検していただきたい旨の発言があったほか、過剰な業務負担は、不正を生む一因となる。組織として業務量はどうか、増員の必要性はあるかなど他県と比較し、現状を認識の上、必要な対策をとっていただきたい旨の発言があった。

委員から、専門性の問題はあるにせよ、管理者は担当者に任せっきりとならないよう、管理を徹底していただきたい旨の発言があった。

(5) 自転車の交通ルール周知について

自転車の交通ルール周知について報告があった。

委員から、様々な趣向を凝らして交通ルールの周知に取り組んでいただいていることから、引き続き創意工夫した情報発信に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、クイズ形式による啓発は、子供の関心が高くなり、有効であるから、ホームページ等でも紹介していただきたい旨の発言があった。

(6) 「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について

「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について報告があっ

た。

委員から、サイバーセキュリティに関し、企業側が実際にどう対応してよいか分からないところが多いことから、サイバーセキュリティのレベルを一段上げるための学びとなる機会にしていきたい旨の発言があった。

委員から、Web会議による講演は、遠隔地の聴講者が聞き易い、見え易い、分かり易いに配慮し、効果が上がるようにしていきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞の結果について説明を受け、決定した。

○ 遺失物法における特例施設占有者の指定について

警察本部から、遺失物法における特例施設占有者の指定について説明を受け、決定した。

○ 行政訴訟の発生報告と指定代理について

警察本部から、行政訴訟の発生報告と指定代理について説明を受け、決定した。

○ 著作権法違反事件捜査への感謝状受領について

警察本部から、著作権法違反事件捜査への感謝状受領について報告があった。

○ 被害者支援基本計画について

警察本部から、被害者支援基本計画について報告があった。

○ 働き方改革の推進状況について

警察本部から、働き方改革の推進状況について報告があった。